



ちとせエコ通信

第15号

平成26年6月

発行：千歳市

えこつう



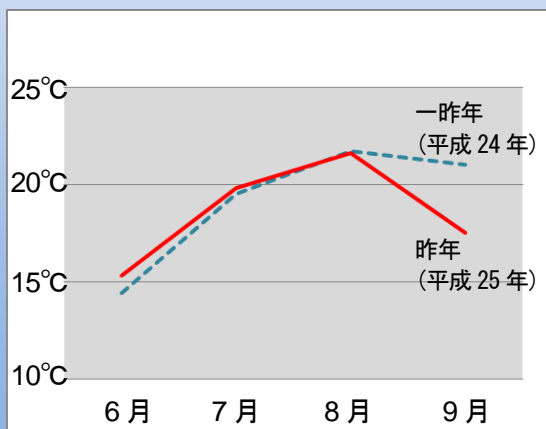
夏に向けて節電対策！

6月になったとたん、夏の節電の予行演習ができそうな暑い日が続きましたが、皆さんどう過ごされましたでしょうか？

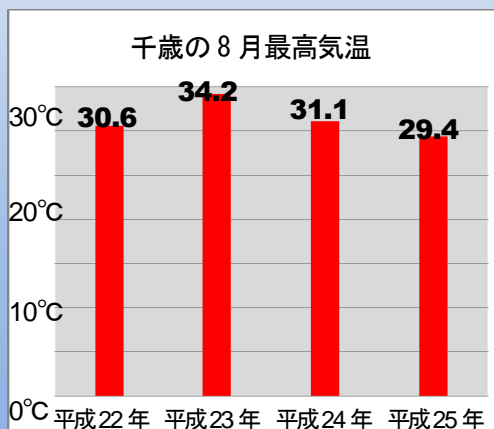
今、事務局では「ECOちとせ」に取り組まれている事業所の方々から、前年度分の報告があり、取組を審査しております。その中で、夏の取組で記載が多かったのは「冷房の設定温度の管理」で、設定温度は27～28℃としている所が一般的でした。

昨年の夏は、月平均気温が6～7月は一昨年に比べやや高かったものの、8月は低めでした。最高気温も過去4年間で最低となっております。（下のグラフ）

さて、今年の夏ですが、気象庁が発表した予報では、5年ぶりにエルニーニョ現象が発生し、夏から秋にかけて続く可能性が高く、気温は平年並みか低いとのこと。



数値：気象庁資料より



ただ、涼しい夏でも湿度は上がりやすく、暑い日もあるでしょう。そこで、節電のヒントをいくつか挙げてみました。

節電のヒント☆

☆退社時にはカーテンを閉める

朝日の入る部屋を涼しく。レースのカーテンを引くだけでも。

☆冷房装置の定期的な掃除

フィルターが目詰まりすると冷房効果DOWN、電気代UP！

☆扇風機を上手に使う

部屋に入る風の通り道に扇風機を置く。風の出入口のドア等は空けておきましょう。

冬の節電結果と夏の節電

北電が公表した、今回の冬の最大電力は平成26年1月17日(17時～18時)540万kWで、節電目標の544万kWを下回りました。今夏の節電では、数値目標はないものの、最大電力は472万kWと北電で想定されています。昨年の夏の節電では506万kWの想定に対し450万kWの実績となっており、今のところ需給ひっ迫には至ってありませんが、火力発電所の老朽化が進んでおり、計画外停止も懸念されています。今年も、色々工夫して節電の夏を乗り切りましょう。



目標を達成できない...

「ECOちとせ」で目標を立ててみたものの、なかなか、思うようにエネルギー削減できない...といったことはありませんか？業務の都合上、恒常的に人員が増加した、使用する機器が増えたなどにより、どんなに取組を工夫しても目標達成が無理な場合があると思います。そんな時は、ECOちとせ事務局にご相談ください！

(実績を把握するため3か月は様子を見てからお願いします。)

☆千歳市エコ商店の取組を紹介します☆

(株)カミノサポートパーク「Kapass」の取組について聞きました



・環境に配慮したエコ商品の販売

カミノサポートパーク「kapass」は、文房具・事務機等の販売及びパソコンサポートサービス・カラープリントサービス・オフィス機器ショールームなど、株式会社カミノの一営業所として、昨年9月までは、本社創業の地である錦町で店舗展開していました。しかし、現在は事業統合となり本社内の元会議室をリニューアルし、スペースを設けて営業をしています。今はネット販売も実施していますが、お客様と触れ合える店頭販売への思い入れもあり継続しています。

取り扱っている商品は再生プラスチック、再生紙等の再生品を利用して作られたエコ



マークがついた文房具類、それらの詰替製品なども取り揃えています。展示商品は限られていますが、他にも多数の商品を取り扱っています。新製品の中からお勧め商品は積極的に宣伝しているとのことで、取材時にも、お試しキャンペーンとして左写真の両面テープを安価に提供していました。このようなエコ商品は、現在、店頭販売し

ている商品のうち8割程度を占めているそうです。

また、最近では、市内事業所用へのLED蛍光管販売やオフィスの室内用のみならず、屋外の照明看板をLED化するなど、節電となる環境に配慮した業務も実施しています。

・環境保全やリサイクルの実践

(株)カミノでは環境マネジメントシステム規格であるISO14001を、

2003年に取得しているのみならず、様々な環境やエコに対する取組を会社ぐるみで実践しています。

会社では、環境チーム6人を中心として、社員総出で様々な環境などに関する活動を行っています。春には本社周辺のごみ拾いを行っています。夏には、公益財団法人ちとせ環境と緑の財団が主催するリサイクルフェスティバルでのリサイクル品販売のお手伝いや、秋には市が主催し、千歳市民文化センターで開催している環境フェアに1つのブースを出展して、会社での取組を紹介しています。

株式会社 カミノ
新富3丁目3-24
電話：(23)4255



リサイクルフェスティバルの様子

編集後記

▼4年以上にわたり、「えこつう」を編集してきました前任から引継を受けました。毎年、夏はそうめんとクール枕、冬は鍋焼きうどんと電気毛布の世話になる私ですが、どうぞよろしくお願ひします。
▼今回の取材を通して、現在、販売されている商品自体が再生品や詰め替え商品などのエコ商品が多くを占め、循環型社会形成の取り組みが進んでいると実感しました。これから、もっともっと、資源保護とごみの減量化が進んでほしいと感じました。

編集・発行：千歳市 市民環境部
環境課省エネ推進係 電話：24-0590
e-mail：shoene@city.chitose.hokkaido.jp
廃棄物対策課資源循環推進係 電話：23-2110
e-mail：haikibutsutaisaku@city.chitose.hokkaido.jp